

# 明野中学校 不登校対策プラン

## 方針

- I 生徒、家庭の実態、状況、困り感に応じた社会的自立を支援する。
- II 教育活動全体を通して二軸三類四層構造による対策を実施する。

## 実践 I

- I 1 生徒指導委員会を定期的に開催し、係を中心に組織的に対応する。
- I 2 支援シートを作成し、的確な実態把握とアセスメントに基づいた支援を行う。
- I 3 生徒の実態により担任以外に支援できる教員、関係者を増やしていく。
- I 4 端末の活用など、学びの方法や人とつながる手段を多角的に検討する。

## 実践 II

- II 1 不登校の未然防止を図るプロアクティブな生徒指導を充実させる。
- II 2 生徒指導の機能を発揮した居場所づくり、絆づくりを推進する。
- II 3 SST、SEL の実施については指導部を中心に研究、検討する。

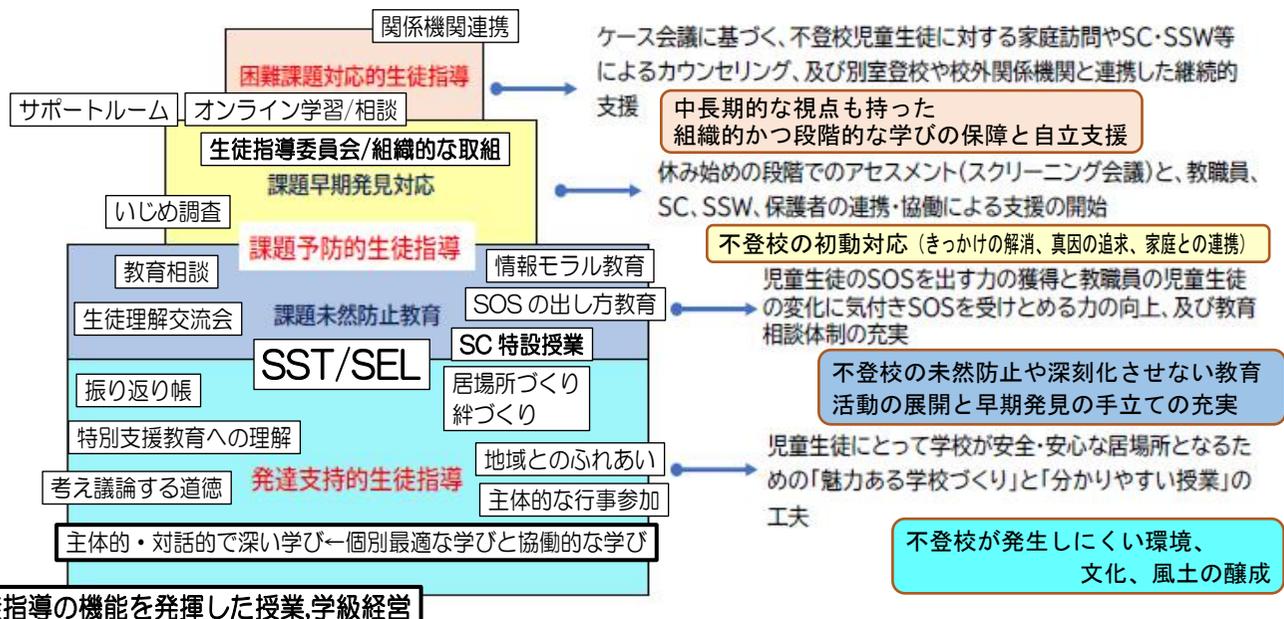
## 生徒指導対策委員会

< 構成員 > 校長、教頭  
 教務主任、生徒指導主任、(不登校係)  
 学年主任、養護教諭、CO (担任、SC)

< 開催 > 定期(2カ月に1回)、必要な場合

< 内容 > 児童生徒理解・教育支援シートを活用した不登校生徒の実態把握とアセスメントの作成、確認

指導 21



## 組織的な対応

- 「児童生徒理解・教育支援シート」を作成
- 生徒指導委員会による分析とアセスメント
- 全教職員で情報の共有、支援体制の構築
- 学校・関係機関との連携・協力
- 病欠欠席の場合は、医療機関との連携

連続 5 日目  
断続 10 日目

連続 3 日目  
断続 7 日目

- 欠席の理由によらず家庭訪問 (担任以外も可)
- 校長への連絡
- 児童生徒の状況、今後の支援方針を校内 (学年) で共有
- 保護者との教育相談

連続 2 日目  
断続 2 ~ 6 日目

- 担任による電話または家庭訪問
- 教頭への連絡
- 児童生徒の実態把握
- 保護者から聞き取り (欠席理由の記録化)
- 病欠欠席の場合は、医療機関の診察結果を確認

## 生徒指導の機能を発揮した授業、学級経営

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
取組	情報モラル教育① ○生徒理解研修 ◆生徒指導委員会	SST① 二者懇談 ○生徒理解研修 ◇学校運営協議会	情報モラル教育② 教育相談 SOS の出し方教育① ・いじめアンケート ・教育相談アンケート ◆生徒指導委員会	SOS の出し方教育② 三者懇談 (3年) 苦小牧いじめサミット 生活向上週間 ・学校評価生徒アンケート	◇学校運営協議会 ◆生徒指導委員会	こころの授業	SST② 教育相談 (3年) ○生徒理解研修 ・教育相談アンケート ◇エリア会議 ◆生徒指導委員会	情報モラル教育③ ・いじめアンケート 三者懇談 (3年) ◇学校運営協議会	生活向上週間 ・学校評価生徒アンケート ◇エリア会議 ◆生徒指導委員会	教育相談 (12年) ・教育相談アンケート	情報モラル教育④ 三者懇談 (12年) ◇学校運営協議会 ◆生徒指導委員会	○明野小引継ぎ

